

ひまわり



2024

2024年3月15日発行(隔月15日発行)



- ② 【情勢】 あたりまえの暮らしを願うこと
- ③ 街頭署名がんばってます！ / 第三かめおか作業所から、今年もアビリンピックに参加しました！
- ④ 4年ぶり！全事業所が集まり、合同新年会を開催 / 「あぜ道専用草刈り機・パワーブロフ」を購入しました！
- ⑤ 【地域とつながる】「いつもメンバーの皆さんから元気をもらって帰っています」
コーラスグループみなみのかぜ様 インタビュー
- ⑥ ちょっと聞いてよ！第49回 / 時

●今月号の表紙写真:第二かめおか作業所(木村 真奈美さん)
喫茶タイムにパンヤリ。あいさつがいつも元気な木村真奈美さん。パックの仕事はもちろん、喫茶店係もがんばっています！美味しいコーヒーとお菓子はいかが？

あたりまえのくらしを願うこと

私たちも加盟しているきょうされんには、利用者部会（障害のある当事者が主体となり、全国の利用者活動の推進等を行う部会）があります。利用者部会では、全国の利用者の声を集め、代表して国に伝えるとくみや、利用者同士の学び合い、交流などを行っています。

深刻な福祉職員の人手不足

その利用者部会で、利用者の声を集めたアンケートをもとに、昨年11月23日に厚生労働省（以下、厚労省）に要望書を提出し、懇談した報告が『きょうされん利用者部会ニュース第79号』（以下、部会ニュース）に掲載されています。

いくつかの要望のなかで、「障害のある私たちの生活を支える「人」が不足しています。障害福祉分野で働く人が、安心して働けるような制度にしてください」という要望があります。部会ニュースには、懇談に参加した利用者部会員・職員から「今、わたしは主人と二人暮らしですが、年齢とともに障害も重度となつて支援がないと生活ができません。朝・夕方・夜、三分野でヘルパーさんから支援を受けていますが、8月

頃から次々ヘルパー事業所から手を引かれています。12月から水木金土の朝に支援に入ってもらうヘルパーさんがまだ見つかっていません。（中略）わたしはどうやって生きていけばいいかわかりません、こんな厳しい状況であることを知っていただきたいと思いません。（後略）」

「募集しても職員が来ません。他の産業と比べて福祉の給料が安いんだと思います。みんな人に支えてもらわないと生きていけないので、もう少し福祉職の職員の給料を上げてもらうと、募集したら来るのではないのかと思います。お願いします」と伝えたことが記載されています。この人手不足については、利用者部会の要望書提出・懇談に先立ち、きょうされんとしても昨年6、7月にかけて「職員不足の実態調査」が行われ、10月24日に記者会見を行い、NHKをはじめ多くのマスコミで報道されました。

他人事ではない

亀岡福祉会の現状

職員不足は亀岡福祉会でも他人事ではありません。現在9ヶ所あるグループホームでは42名の利用者がく

グループホーム

センター長 後呂 絵美

る防衛費予算とは裏腹に、国からは「厳しい財源」という言葉が聞かれます。あたりまえのくらしを願うことが奪われることのないよう、実態を伝え、声を上げ続けることが必要です。

わたしたちができること

そして私たちにできることは、切実な声のひとつひとつをすべて理解することはできないかもしれませんが、それでも「自分のこと」「自分に近い、親しい人のこと」のように想像し、思いを寄せることだと思います。

この『ひまわり』を手にして読んでいただいているみなさん、あたりまえにくらすことって？働くことって？を一緒に考えあいましょ。そしてみなさんのまわりにもその輪を広げていただけたらなお嬉しいです。

【参考・引用資料】

「きょうされん利用者部会ニュース第79号」
「きょうされん職員不足の実態調査」

らしています。グループホームに入居されているみなさんの毎日に人手は欠かせず、職員がいないからとグループホームを閉めるわけにはいきません。65歳以上の高齢の方をはじめ、障害の重度化や病気の発見などで、年々たくさんの支援が必要になってきています。その都度、複数で支援に入る時間帯を設定したり、ヘルパーや訪問看護を利用したりしながら、「慣れ親しんだ場所です。少しでも安心してくらしが送れるように」を考えています。職員不足はありながら、どうにかこうにか工夫しながらの毎日。利用者みなさんも、作業所やグループホームで職員が足りていないことを日々感じています。「今日はだれが来てくれるのか」、そんな心配をするような毎日にはあたりまえのくらしとは言えません。職員も「心配しなくて大丈夫」とドンと胸をたたきたいけど…の「けど」にやるせない気持ちが見え隠れします。きょうされん利用者部会が要望書提出に向けてきょうされんに加盟する事業所1800ヶ所の利用者へ送ったアンケートには、職員不足以外にも、年金や福祉制度のことなど、生きる上で欠かせない切実な声が多く寄せられたそうです。どんどん上が



入口に立ち大きな声で呼びかけています！



署名よりも職員のカメラが気になる(笑)

第47次国会請願署名・募金運動が始まりました。2月1日から街頭署名を行っており、毎週火、木曜日の午前中に店先で署名と募金の呼びかけをしています。肌寒い日もありませんでしたがメンバーは元氣よく活動に取り組んでいます。ポスターを掲げて呼びかけをしています。ご協力してくださった人の中には「ご苦労様」「がんばって」と声をかけてくださる方もいて大変励みになりました。多くの人に活動を知ってもらい、お力添えしていただければいいと思います。

現在の到達
(2024年3月5日現在)

署名： 1, 832筆

募金： 99, 433円

街頭署名ががんばっています！
第47次国会請願署名・募金運動にご協力ください

第三かめおか作業所から、今年もアビリンピックに参加しました！



コロナ禍が落ち着いたことで、今年度のアビリンピック京都大会は4年ぶりに従来通りの形で行われました。参加者も昨年の7名から13名に増えました。第三かめおか作業所からは、今井さん、鈴木さん、今西さんの3名が参加しました。今井さん、鈴木さんは昨年が続いての大会参加でした。



左から鈴木さん、今西さん、今井さん

都府障害者技能競技大会
回アビリンピック京都大会

で、入賞を狙いにきました。練習では、一つ一つの動きを丁寧に確認しながら行った結果、大会前には入賞を狙えるレベルにまで到達していたと思います。大会本番では、他の団体の参加者のレベルもかなり高かったため、残念ながら入賞は叶いませんでしたが、それでも2人とも練習の成果を思う存分発揮できたと思います。今西さんは5年ぶりの参加でしたので、大会ではとても緊張していました。それでも、「私としてはやりきることができた」と本人も言っているように、悔いなく終わることができました。次は、3人がアビリンピック大会を通して培った清掃技術を、普段の仕事でも発揮してくれることを願います。